設計内容説明書【共同住宅等－住棟評価用】（木造軸組・枠組壁工法用）

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
構造の安定	1－1 耐震等級（倒壊等防止）	構造躯体	構造躯体（1－1）	□ 認定書等（品確法）の活用 認定番号等（　　）		審査員記入欄 □
				□ 壁量計算等 ・横架材　□ 許容応力度計算　□ スパン表 ・基礎　□ 許容応力度計算　□ スパン表	□ 仕様書 □ 伏図等 □ 計算書 □ 認定書(基準法) □ □	
				□ 許容応力度計算 ※軸組の場合 □ 偏心率0.3以下		
				□ 許容応力度計算＋偏心率の検討（告1540号第10第1号） ※枠組の場合 □ 許容応力度計算（告1540号第10第2号）		
				□ その他の計算方法		
				□ 大臣認定書（基準法）の活用		
	1－3 その他		免震建築物（1－3）	□ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 □ 大臣認定書の活用　□ その他 □ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成		

設計内容説明書【共同住宅等－住棟評価用】（木造軸組・枠組壁工法用）

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
劣化の軽減	3－1 劣化対策等級（構造躯体等）	認定書等		□ 認定書等（品確法）の活用 認定番号等（　　）		審査員記入欄 □
		外壁の軸組等	外壁の構造等（地面から1m）	□ 外壁通気構造等（真壁構造で90cm以上の軒の出がある場合を含む） ・柱 □ 製材、集成材等＋薬剤処理（現場処理可） □ 製材、集成材等＋小径13.5cm □ 製材、集成材等＋耐久性区分D1＋小径12.0cm以上 □ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ・軸材下地材 □ 製材、集成材等又は構造用合板等＋薬剤処理（現場処理可） □ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ・合板 □ 構造用合板等＋薬剤処理（現場処理可） □ K3以上の薬剤処理（工場処理） □ その他	□ 仕上表 □ 立面図 □ 断面図 □ 矩計図 □ 伏図等 □ 平面図 □ □	
		土台	防腐・防蟻処理	□ 土台に接する外壁下端水切り □ K3以上の薬剤処理（工場処理） □ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 □ その他		
		浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	・浴室 □ 浴室ユニット □ 外壁軸組等の防腐措置等 □ その他 ・脱衣室 □ 防水上有効な仕上げ □ 外壁軸組等の防腐措置等 □ その他		
		地盤	防蟻措置	・防蟻措置（□ 有 □ 対象区域外） □ べた基礎等 □ 土壌処理 □ その他		
		基礎高さ	基礎高さ	□ 地面から基礎上端 又は土台下端までの高さが400mm以上		
		床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置 床下換気措置	・防湿方法（□ コンクリート □ 防湿フィルム □ その他） □ 換気措置（□ 換気口 □ ねこ土台 □ その他） □ 基礎断熱工法　注：一部基礎断熱工法の場合もチェック		
		小屋裏換気	小屋裏換気の措置	□ 小屋裏 有（換気措置による）　注：いずれにも該当する場合は □ 小屋裏 無（屋根断熱工法・その他の措置）　それぞれにチェック		
		その他の構造部材		□ 建築基準法施行令第37条、第41条、第49条及び第80条の2の規定に適合		

設計内容説明書【共同住宅等－住棟評価用】（鉄筋コンクリート造等）

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
構造の安定	1－1 耐震等級（倒壊等防止）	構造躯体	構造躯体（1－1）	□ 認定書等（品確法）の活用 認定番号等（　　）		審査員記入欄 □
				・構造計算方法 □ 限界耐力計算 □ 保有水平耐力計算（ルート3） □ 許容応力度等計算（ルート2） □ 許容応力度計算（ルート1） □ その他の計算方法 □ 大臣認定書（基準法）の活用	□ 仕様書 □ 伏図等 □ 計算書 □ 認定書(基準法) □ □	
	1－3 その他		免震建築物（1－3）	□ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 □ 大臣認定書の活用　□ その他 □ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成		

設計内容説明書【共同住宅等－住棟評価用】（鉄筋コンクリート造等）

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
劣化の軽減	3－1 劣化対策等級 （構造躯体等） ※一部鉄骨造の場合は鉄骨造用の設計内容説明書も添付必要	認定書等		□ 認定書等（品確法）の活用 認定番号等（　　）		審査員記入欄 □
		コンクリート・セメント	コンクリート種類 セメント種類	・コンクリートの種類　□ 普通コンクリート　□ 軽量コンクリート ・セメントの種類　□ 普通ポルトランドセメント　□ フライアッシュセメント　□ 中庸熱・低熱ポルトランドセメント　□ 高炉セメント　□ その他のポルトランドセメント	□ 仕様書 □ 伏図等 □ □	
			水セメント比・最小かぶり厚さ	・水セメント比 □ 50%以下　□ 55%以下 ・最小かぶり厚さ □ 水セメント比に応じたかぶり厚さを確保		
		部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	□ 施工誤差を考慮した設計かぶり厚さを設定している		
		コンクリートの品質	スランプ	□ Fq等が33N/mm^{2}未満の場合、スランプ18cm以下 □ Fq等が33N/mm^{2}以上の場合、スランプ21cm以下 □ その他　大臣認定書、又はJASS5（2018）解説表3.2の値 等 ※Fq等：JASS5における品質基準強度、又は同等の基準強度を示す		
			単位水量	□ 185kg/m^3 以下　□ その他		
			空気量	□ 4～6%　□ その他		
		施工計画	コンクリートの充填方法等	打込・締め固め方法、打継ぎ部の処理方法、養生方法 □ JASS5－7節、8節に準拠　□ その他		
		その他の構造部材		□ 建築基準法施行令第37条、第72条、第74条、第75条、第79条、第79条の3及び第80条の2の規定に適合		

設計内容説明書【共同住宅等－住棟評価用】（鉄骨造用）

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
構造の安定	1－1 耐震等級（倒壊等防止）	構造躯体	構造躯体（1－1）	□ 認定書等（品確法）の活用 認定番号等（　　）		審査員記入欄 □
				・構造計算方法 □ 限界耐力計算 □ 保有水平耐力計算（ルート3） □ 許容応力度等計算（ルート2） □ 許容応力度計算（ルート1） □ その他の計算方法 □ 大臣認定書（基準法）の活用	□ 仕様書 □ 伏図等 □ 計算書 □ 認定書(基準法) □ □	
	1－3 その他		免震建築物（1－3）	□ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 □ 大臣認定書の活用　□ その他 □ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成		

設計内容説明書【共同住宅等－住棟評価用】（鉄骨造用）

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
劣化の軽減	3－1 劣化対策等級（構造躯体等）	認定書等		□ 認定書等（品確法）の活用 認定番号等（　　）		審査員記入欄 □
		構造躯体	鋼材の厚さ（最小）	・一般部 □ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている　□ その他 ・柱脚部　注：地階を除く最下階の柱脚部が対象 □ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている　□ その他 ・その他　注：柱・梁・筋かい以外の部分に使用されている鋼材 □ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている　□ その他	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 矩計図 □ 伏図等 □ 部材リスト □ 立面図	
		床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置	・防湿方法　〔 □ コンクリート　□ 防湿フィルム　□ その他 〕	□ □	
			床下換気措置	□ 換気措置　〔 □ 換気口　□ ねこ土台　□ その他　〕 □ 基礎断熱工法　注：一部基礎断熱工法の場合もチェック		
		小屋裏換気	小屋裏換気の措置	□ 小屋裏 有（換気措置による）　注：いずれにも該当する場合は □ 小屋裏 無（屋根断熱工法・その他の措置）　それぞれにチェック		
		その他の構造部材		□ 建築基準法施行令第37条、及び第80条の2の規定に適合		

設計内容説明書【共同住宅等－住棟評価用】

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
維持管理・更新への配慮	4－2 維持管理対策等級（共用配管） □ 該当なし	共用配管	コンクリート内埋込み配管	□ 給水管、排水管、給湯管及びガス管のコンクリート内への埋め込み無し(モルタル、コンクリートブロックを含む)	□ 仕様書 □ 配置図 □ 平面図 □ 矩計図 □ 構造図 □ 設備図 □ □	審査員記入欄 □
		地中埋設管	埋設管上のコンクリート打設	□ 給水管、排水管、給湯管及びガス管上のコンクリート打設無し		
		共用排水管	排水管の清掃措置	・共用立管の掃除口 □ 屋上階又は最上階、最下階及び3階以内おきの中間階又は15m以内毎に設置 ・横主管の掃除口 □ 15m以内毎に設置(清掃に支障が生じる場合を除く)		
		配管点検口	主要接合部等の点検措置	□ 給水管、排水管、給湯管及びガス管の主要接合部等の点検措置等の確保		
		排水管の性状等	内面の仕様	□ 排水管の内面が平滑である		
			設置状態	□ たわみ、抜け等が生じないよう設置		